

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



ホームページ

2025.08.04

No.011



Twitter

八地申第1号

8月1日申し入れ

JR 東日本グループで働く社員の“命”を 熱中症から守るため、「安全な労働環境の確保」と 「迅速かつ適切な初期対応」を求める緊急申し入れ

今年は梅雨明け前から高い気温の日が連続し、2010年からの統計史上最多となる300地点以上で気温が35℃以上になる“猛暑日”となるだけでなく、気温が40℃以上になる“酷暑日”も観測されており、八王子支社管内においても、甲府では7月の“猛暑日”日数が過去最多を更新するなど、高い気温の日が連続するなど、例年を上回る速さと気温による厳しい環境の中で、働かざるを得ない日々が続いています。

そのような中、6月9日には小山新幹線車両センター構内で清掃作業に従事していたJR東日本テクノハート TESSEI 社員が、同月21日には幕張車両センター構内で外板作業に従事していたJR千葉鉄道サービスの協力会社社員がそれぞれお亡くなりになるといった痛ましい労働災害が連続発生してしまっています。このことに対して輸送サービス労組八王子地本として、あらためてお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたすとともに、確実な再発防止対策を会社に対して求めているところです。

熱中症から社員の命を守るために必要なことは、「安全な労働環境の確保」だけでなく、「迅速かつ適切な初期対応」も欠かせません。6月1日に施行された改正労働安全衛生規則にある「職場における熱中症対策の強化について」に従い、熱中症のおそれがある作業等者の処置フロー例が掲示されるなどしていますが、職場ではこまめな水分補給が呼び掛けられるのみで具体的な教育・周知はされていません。屋外だけでなく屋内でも熱中症になるおそれがあることなどを考慮した、JR東日本グループで働く社員の“命”を熱中症から守るべく下記の内容で申し入れを行いました。

申し入れ項目

1. 熱中症から社員の“命”を守る「安全な労働環境の確保」のために支社が実施していることを具体的に示すこと。
2. 熱中症から社員の“命”を守る「迅速かつ適切な初期対応」をするために支社が実施していることを具体的に示すこと。